（別紙4（2））

目標達成計画

事業所名 :グループホーム　はっぴーらいふ
作成日　：　平成24年3月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 2	理念に地域密着型事業所としての役割を謳っているが、地域の方との交流が十分に出来ていない。	年間目標を掲げ、より理念に基づいたケアを目指し、家族や地域の方にホームへの理解を深めていただく。	①介護の月間、年間目標を設ける ②年度初めの運営推進会議の席で、理念、年間目標を報告する ③地域の方にボランティアに来ていただくようお願いする ④ホーム便りの回覧についてご家族の同意を得ることができれば、隣保組にも回覧板等と一緒に回覧する	12ヶ月
2	35	地域の方々や消防団に口頭でお願いはしているが、協力を得ての訓練や地震対策が不十分である。また、職員の誘導方法が統一されていない。	災害時のマニュアルに基づいて全職員が冷静に統一した対応ができ、利用者の安全が確保できるようにしておく。	①地域の消防団の方に運営推進会議に参加して頂きてホーム内の状況を知っていただき、訓練時のご協力をお願いする ②火災のみならず地震発生時も想定して、家具の固定、危険場所の点検と安全対策、避難訓練を実施する。 ③非常災害時のマニュアルを作成し、どんな環境や状況でも全職員が適切に対応出来るようにする	12ヶ月
3	10	運営推進会議の場等で、ご意見や要望を聞く機会を設けているが、真のご意見や要望がなかなか上がってこない。	ホーム便りの発信にて、更にホームを身近に感じていただき、気軽に意見を言っていただけるような環境作りを構築する。	①3ヶ月に1回、ホーム便りを作成し、担当者よりコメントを記入し、お便りと一緒に送付する ②1年に1回、ご意見や要望をいただけるようなアンケートを作成し送付する	12ヶ月
4	33	終末期のあり方についてご本人やご家族に希望の確認が取れていない。職員も未経験者が多く、看取りに対して不安がある。	ご本人やご家族に意思を確認し、把握し、安心して生活できる場が提供できるよう職員の質を高める。	①担当者会議の場等でご本人やご家族に意思を確認する ②かかりつい医の夜間帯の往診の対応可否とご家族の協力体制の有無の確認をしておく ③外部研修への参加や他施設の実習を取り入れ看取りに対する意識を高める。また内部でも勉強会や話し合いを行う	12ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。